|  | 若者向け自殺予防対策事業 |
| :---: | :---: |
| $=$ | 相談会と講演会の開催を通して二 |

## 【事業の背景•必要性】

宇佐市では，自殺対策基本法の理念に基づき，総合的•効果的な自殺予防対策の推進を図ることを目的に，平成 21 年度から宇佐市自殺予防対策強化推進協議会を設置している。
その情報交換の中で「義務教育終了後の子供や保護者が，身近に悩みや不安の相談ができる場が少 ない」「市内でも自殺企図のある若者が見受けられる」との意見が出された。
そうしたことから，若者を対象とした自殺予防対策の取組を平成 23 年度に開始している。

## 【地域の特徴•自殺者数の動向】

－地域状況：大分県の北部に位置し，北は瀬戸内海に面し，南は山岳を境とする南北約 30 km ，東西約

| 総人口 | 年齢3区分別人口 |  |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: |
|  | 年少（0～14 歳） | 生産（ $15 \sim 64$ 歳） | 老年（65 歳以上） |
| 57,398 人 | 7,043 人（12．4\％） | 30,725 人（54．2\％） | 18,830 人（33．2\％） | 15 km の広大な地勢。

－自殺者数の特徴としては，男性が女性の約 2 倍に達し，特に $40 \sim 60$ 代の男性が多い。年間の自殺者数は，15 人前後で推移している。平成 24 年は全自殺者数 11 人に対し， $20 \sim 30$ 代の若者が 6 人と半数以上を占めた。

## 【事業目標 事業内容】

（1）相談会「思春期こころの相談」の開催
目標：主に 10～20 代の若者とその家族を対象に，ひきこもりや精神保健福祉に関する相談窓口を設置し，相談支援体制の強化を図る。
内容：臨床心理士による個別相談（月2回）場所：せせらぎ教室（適応指導教室）
相談内容や相談者の状況：平成 26 年度の総相談件数 32 件

|  |  |  |  |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 区分 | 本人 | 保護者 | 学校 | 合計 |
| 不登校 | 0 | 7 | 4 | 11 |
| 対人関係 | 1 | 9 | 0 | 10 |
| ひきこもし | 1 | 2 | 0 | 3 |
| 発達章害 | 0 | 2 | 1 | 3 |
| 家庭問題 | 3 | 0 | 0 | 3 |
| 地域活動関係 | 3 | 0 | 0 | 3 |
| 職場関係 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 合計 | 9 | 20 | 5 | 34 |




## （2）講演会「こころの健康講座」の開催

目標：主に思春期の子供たちと保護者に対し，「命の尊さ・大切さ」について考えてもらう機会を提供する。
内容：講師 水谷青少年問題研究所 水谷 修 氏
（a）平成 25 年度 主に子供向けの講演を安心院地域で開催

| 安心院中•安心院高の子供たち | 約 430 人 | 合計 |
| :--- | :--- | :--- |
| 保護者，学校関係者，一般市民 | 約 240 人 | 約 670 人 |

（b）平成 26 年度 主に保護者向けの講演を宇佐地域で開催


| 小学生•中学生の保護者 | 約 500 人 | 合計 |
| :--- | :--- | :--- |
| 小学生•中学生•高校生 | 約 100 人 |  |
| 学校関係者，一般市民 | 約 300 人 |  |

参加者の感想

- 人の心の痛みを教えてもらった。相手のことを考え，自分も大切にして生きていきたい。
- 自殺を考えていたこともあったが，もう考えない。生きたいと思った。
- お互いを褒め合い，あたたかい言葉をかけあうことが明るい社会をつくり，自殺を防ぐことに なるのだと思った。
－地域の子供たちをみんなで守っていくことが大切だと分かった。


## 【事業実施にあたっての運営体制】

健康課が主管課となり，教育委員会，福祉課と連携して，企画•周知•講師依頼•講演会等の運営 を行った。

## 【事業のエ夫点】

相談会：市内の適応指導教室で開催することに対し，「抵抗なく相談できる」「卒業しても引き続き相談でき，安心できる」という利用者の評価する声が多い。
講演会：子供たち自身が参加できるよう地理•交通の利便や時間帯を考慮しながら，開催日•時間•会場の設定を行った。
2 年にわたって，講演会の計画•開催ができたことで，教育委員会，市内の各小•中学校 や高校，宇佐市 PTA 連合会等の多大な協力を得ながら，多くの思春期の子供たちとその保護者に参加してもらうことができた。

## 【事業成果，今後の課題】

－「相談会」と「講演会」の 2 つの事業を実施することで，不登校やひきこもり，対人関係に問題を抱えている子供たちやその家族と個別的な関わりをもつとともに，地域住民の方々に，広く「命の尊さや命の大切さ」を伝えることができた。
－今後も，他の自殺予防対策事業との関連を考慮しながら，息の長い取組を継続して行っていく必要 があると考える。

| （問合せ先） | 大分県 $\quad$ 宇佐市役所 健康課 |
| :---: | :---: |
|  | TEL：0978－32－111（内線 652） |
|  | E－mail：kenkou04＠city．usa．oita．jp |

